

一般演題7 O7-08

海洋医療即時対応研修 ICMM (Immediate Care of Marine Medicine) ver. 2 の開発動向

○奥寺 敬¹⁾ 三浦邦久²⁾ 横堀将司³⁾ 豊田 泉⁴⁾

橋本真由美⁵⁾ 伊井みづ穂^{2,6)}

- | |
|-------------------------|
| 1) 中部国際医療センター 救命救急センター |
| 2) 医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 副院長 |
| 3) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野 |
| 4) 岐阜県総合医療センター 救命救急センター |
| 5) 福島県立医科大学医学研究科危機管理看護学 |
| 6) 富山大学医学部看護学科成人看護学 |

【はじめに】

海洋医療即時対応研修 ICMM (Immediate Care on Marine Medicine) は、日本臨床高気圧酸素・潜水学会が開発し合併後の日本高気圧潜水医学会においても研修コースとして採用されている高気圧潜水領域の研修である。現在の状況は、国際標準の新たな日次を括本とし従来の ICMM ver. 1 を再構築 ICMM ver. 2 の開発が進行中である。

【方法】

ICMM ver. 2 の構成は、溺水、高気圧酸素医療、海洋における安全確保、海洋医学、非毒性海洋生物による外傷、海洋由来食品アレルギー、海洋由来食品の毒物（食中毒含む）、脊椎海洋生物による毒性、無脊椎海洋生物による毒性、海洋皮膚障害（海洋細菌）、BLS と AED である。

【結果】

ICMM ver. 2 は、ver. 1 のコンテンツの再分類と新たなコンテンツからなる。新たなコンテンツは、海洋巾来食品アレルギー、海洋由来食品の毒物（食中毒含む）であり、全てを包括すると初期設計の半日コースの構成に無理を生ずるため、追加するコンテンツは事前学習資料とし質疑応答対応を計画している。また、ICMM 研修の現状は、本年3月の第30回日本災害医学会において発表した。

【まとめ】

ICMM ver. 2 階段は、日本高気圧潜水医学会の WG として再定義し、テキスト作成等を具体化し本学会の会員に幅広く活用される研修として開発を進める所存である。